



## 2019 ピレリスーパー耐久シリーズ 第6戦 スーパー耐久レース in 岡山

様々なドラマがあった2019年も  
秋深まる岡山でいよいよ最終戦を迎える事となった。

我々トレシースポーツにとって  
岡山国際サーキットはホームコース。

多大なるメーカー様のご協力と  
多くの方々のご声援に感謝しつつ

ドライバー、スタッフ全員が全力を出し切り  
今年の集大成となるようなレースを目指しました。



# #998 Z-REX ADVICS R8 TRACY

ST1

予選結果 2位

決勝結果 2位

A:Dr JEFFREY ZEE

B:Dr JASON ZHANG

C:Dr HAN WANG



全員が海外ドライバーで岡山国際サーキットは全員初めてのコース。

フリープラクティスから試行錯誤を繰り返しコースに慣れ、  
少しずつタイムを縮めていく。

彼らにとってあっという間にやってきた予選は2位となった。

決勝は今回 2 グループに分かれる形式で行われ、  
R8にとっては走りやすく順調にラップを重ねる。

しかし接触によりダメージを負う事に・・・走行に支障はなかったが、  
ブレーキランプを破損。ピットインにて修理を余儀なくされる事となった。  
最後まで懸命に走行を重ねたが2位でのチェッカーとなりました。

# #38 ADVICS muta racing RC350 TWS

ST3

予選結果 4位

決勝結果 1位

A:Dr 堀田 誠

B:Dr 阪口 良平

C:Dr 堤 優威



シリーズチャンピオンを狙い戦ってきたが、AP戦でのノーポイントが影響し厳しい状況でありながらも全力を尽くすのみとなった。

事前テストも行い万全の用意をして岡山に持ち込む。  
ハイレベルな攻防を繰り返すST3クラスだけあってプラクティスから予想のつかない展開となった。  
予選はベストタイムを更新するも僅差ながら4位となる。

決勝は予想通りハイペースな戦いとなる。中盤のSC中にピットイン&タイヤ交換を選択し、燃費走行を要するがそれでも13秒のリードを築きトップチェッカーとなった。  
シリーズチャンピオンには届かなかったが、“優勝”で今年を締めくくった。

# # 39 5ZIGEN ADVICS RC350 TWS TRACY

ST3

予選結果 7位

決勝結果 5位

A:Dr 下垣 和也

B:Dr 大島 和也

C:Dr 近藤 説秀



もてぎ戦からのインターバルの間に多くのテストを消化し、心残りの無い様全力で最終戦に挑む。

予選では下垣選手、大島選手 両名とも大きくベストを更新するも予選結果では7番となった。

決勝では大島選手がジワジワと追い上げる。しかし減速時に大きな振動を伴う…。ブレーキにアドバンテージがあるRC350の長所を活かせず苦戦する。しかし中盤のFCYでドライバー交代を行いすぐにSCに変わったタイミングで間髪入れずに再度ドライバー交代を。この段階で義務PITを消化する事に成功。堅実な走りで2ポジションアップでチェッカーとなった。

## #5 5ZIGEN ADVICS SPV 86

ST4

予選結果 11位

決勝結果 6位

A:Dr 三島 優輝

B:Dr 岩佐 歩夢

C:Dr 青合 正博



当車両も積極的に事前テストと練習を重ね岡山に持ち込んだ。

また今回は若手の岩佐歩夢選手と当チームと長く関わり深い青合選手をドライバーとして登録。

しかし木曜にクラッシュ。修復に時間を要したが金曜から走行を重ねる。アライメント等に不具合は無いがやや後遺症を引きずる事になった。予選では不調もあり11位となり、決勝に向けて改めて、マシンのチェックを入念に行う。

決勝は快調に周回を重ねる。得に若手、岩佐選手の走りが光る。ハイペースで順位を上げ、ピット作業もミスなく消化。11位スタートながら6位入賞と見事な追い上げを見せた。





ご声援ありがとうございました！